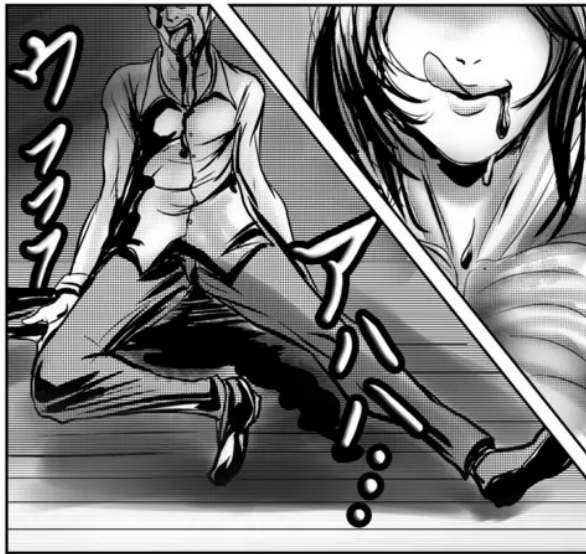
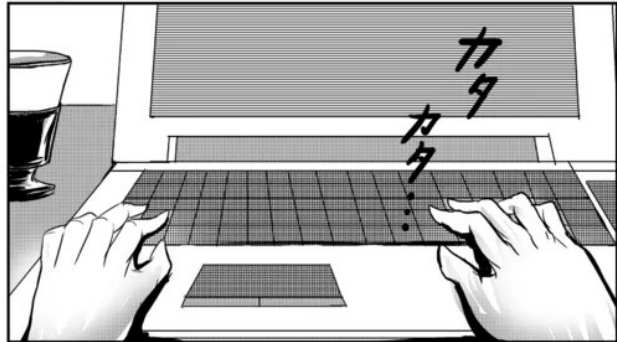


綾といづ女







挨拶を交わした女性は俺の所属部署の先輩社員にあたる女性。
結婚10年目35歳人妻。
刺すような鋭くきつい目つきは見るからに獲物を狙う肉食獣のようだが、
かなりの美人である。
その目で睨まれると何もしていないのに思わず謝ってしまいそうになる。



おはよう近藤君

そしてその身体は女性にしては超長身で190センチ以上もあるのだ。
圧迫感が半端ない。
しかし、その割に体型はスレンダーを通り越し、かなりの痩せ体型であるため、
体重は長身にも関わらず60キロ程と思われる。
彼女の名前は綾。
年齢を感じさせない美しいミディアムヘアに少しパーマをかけている。



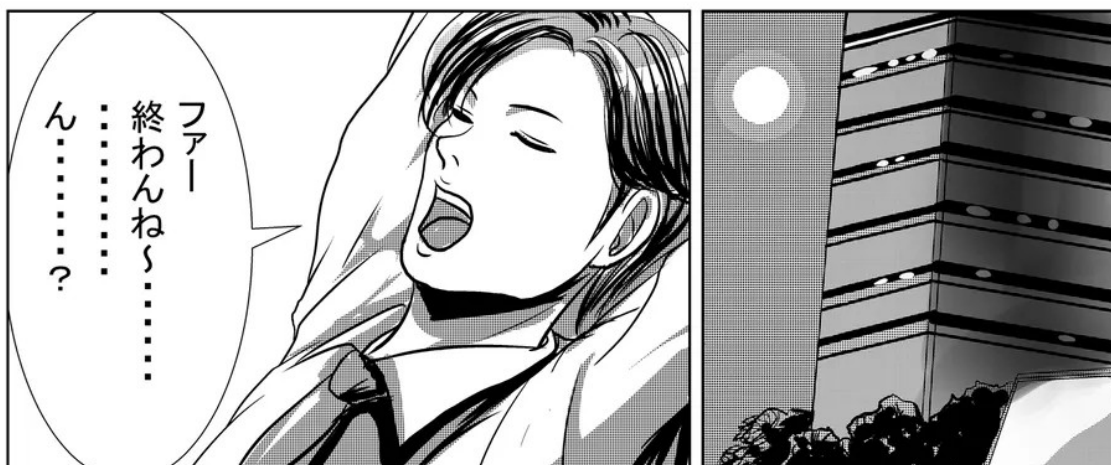
大人の色香を感じさせるその魅力は、
人妻であるにも関わらず、
小柄な女性がタイプでデカい女は嫌だと



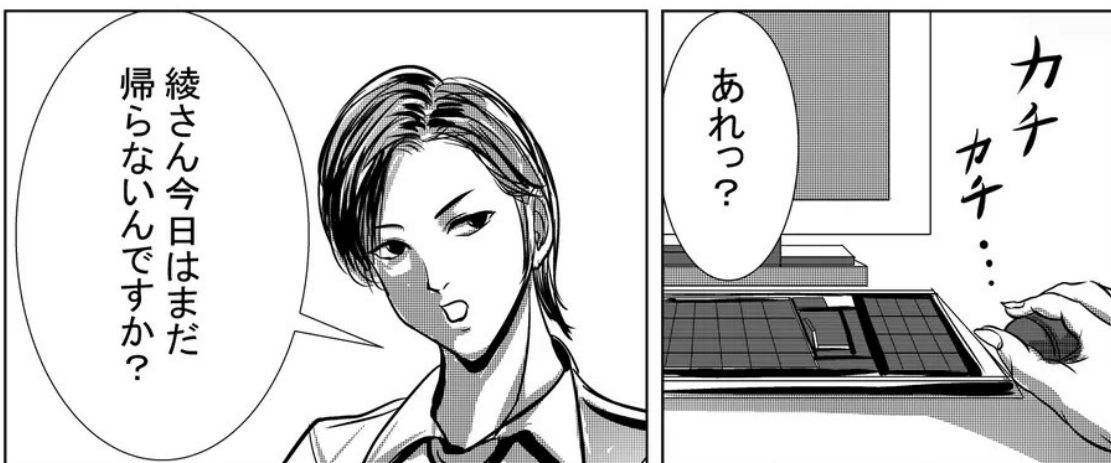
普段から吹いている
男性社員達の心すらも
鷲掴みにしていた。



綾さんホント色っぽいなあ。
人妻じゃなきゃなあ。



フアー
終わんね〜……
……
ん……………?



綾さん今日はまだ
帰らないんですか?

あれっ?

カチ
カチ……

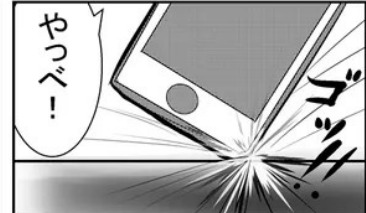


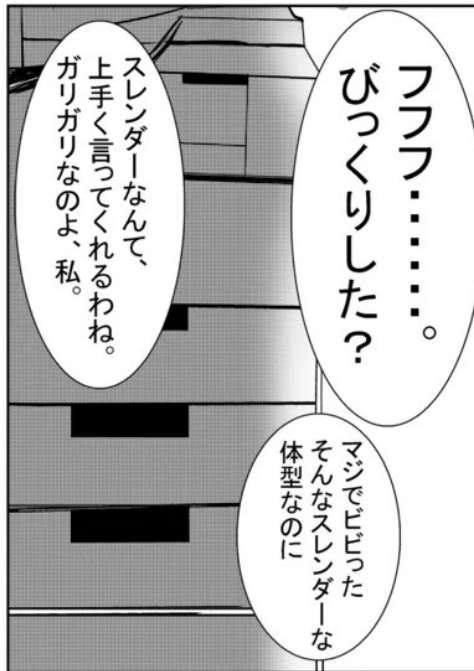
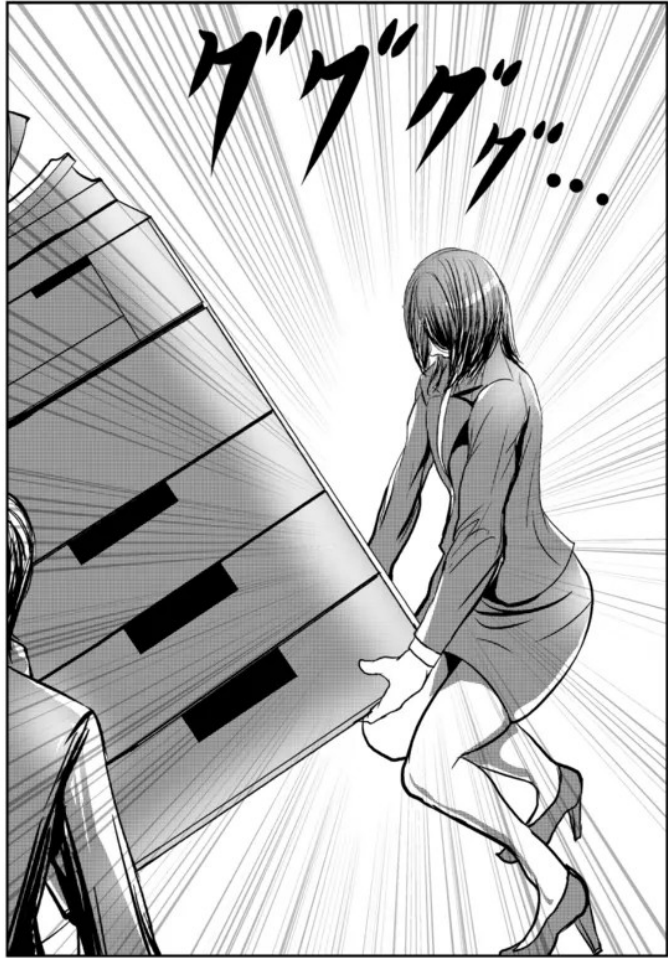
そうですか。
お互いなるべく
早く帰りましょうね

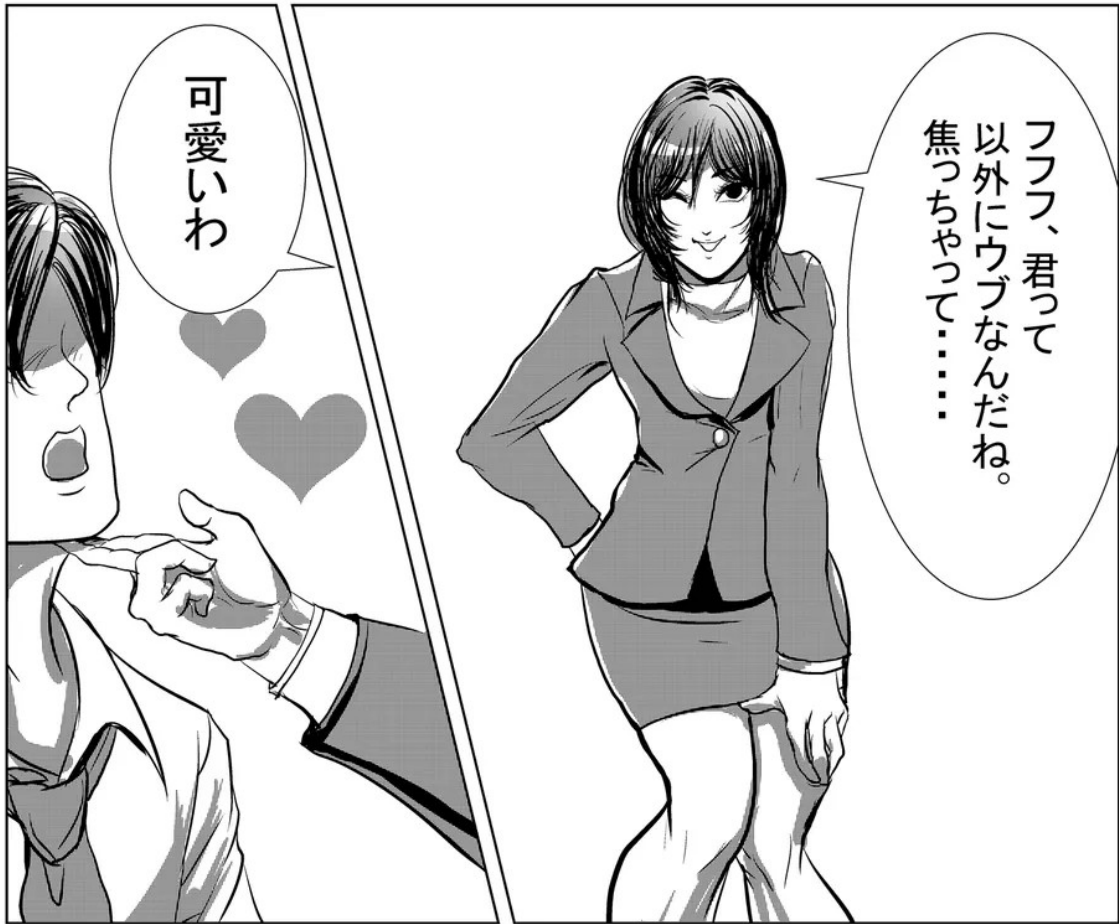
うん、もうちょっとね
私も仕事
が溜まってるんだ



あっ…



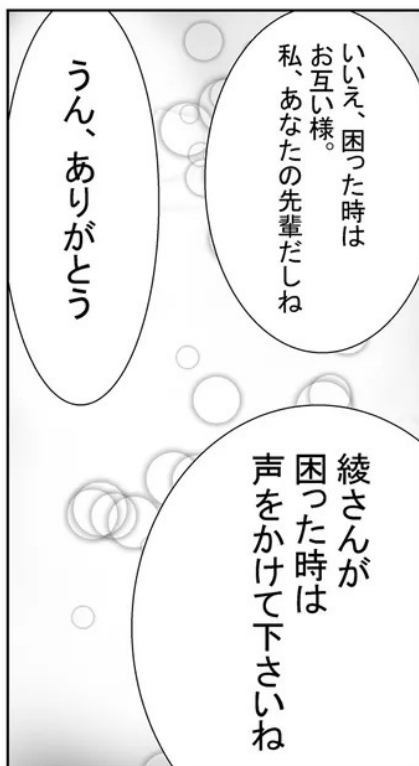


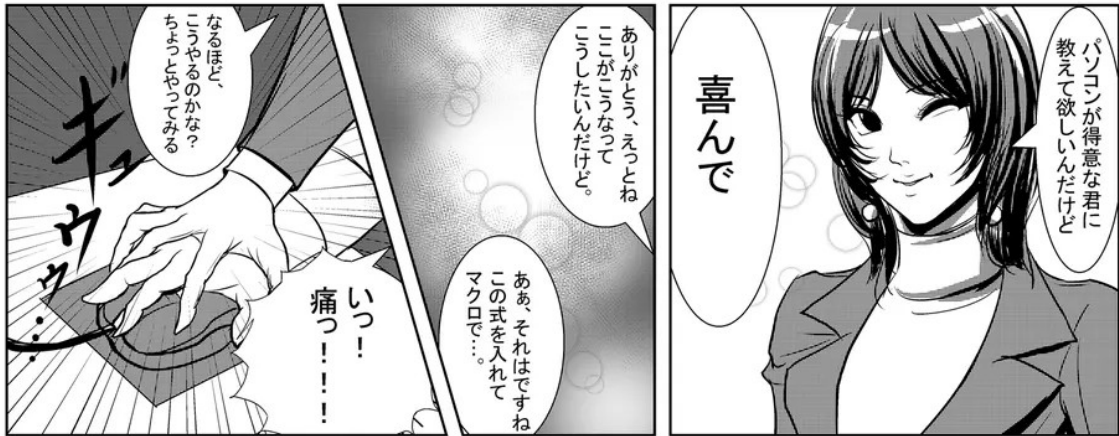


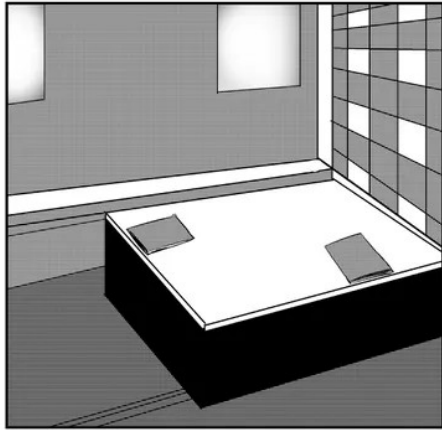
翌朝

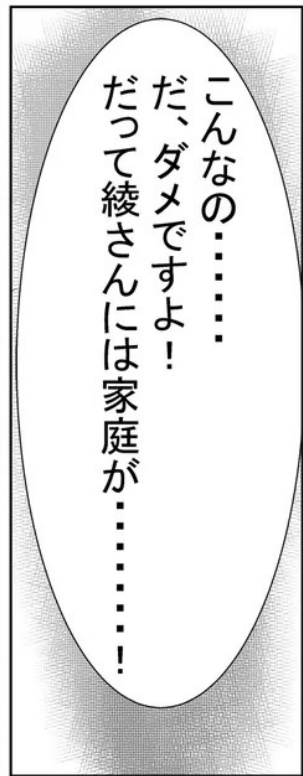
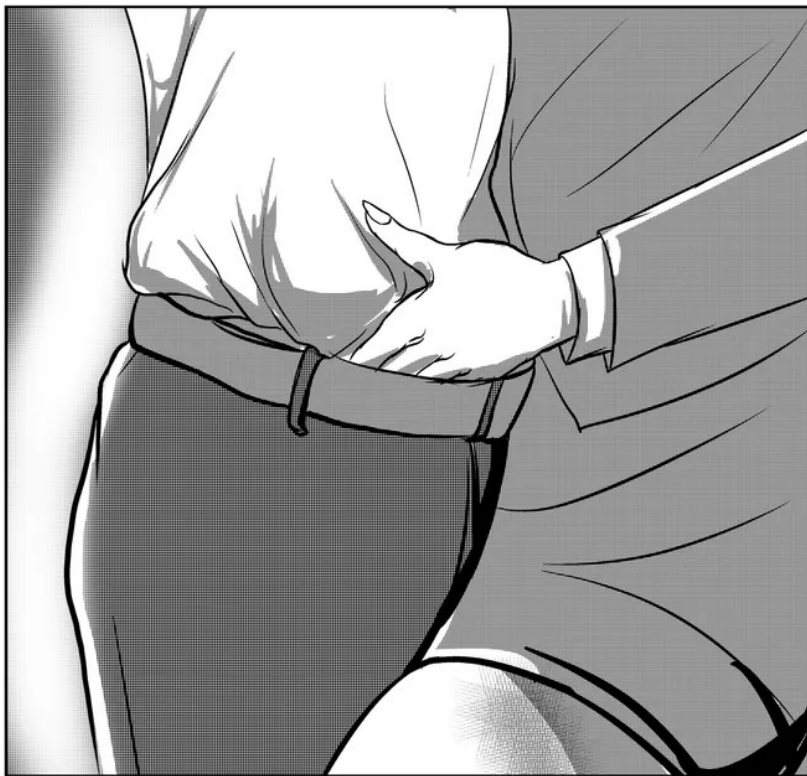
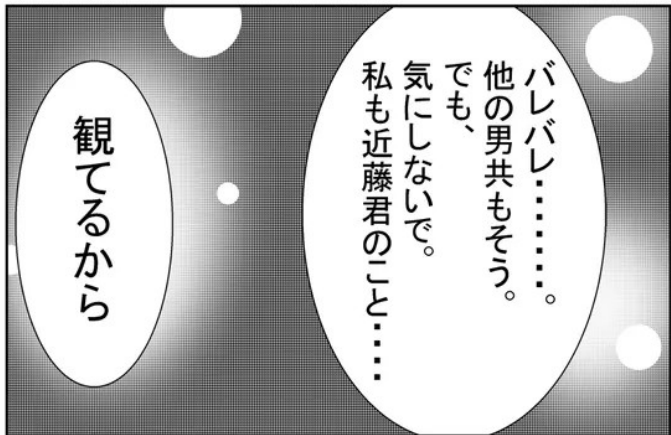
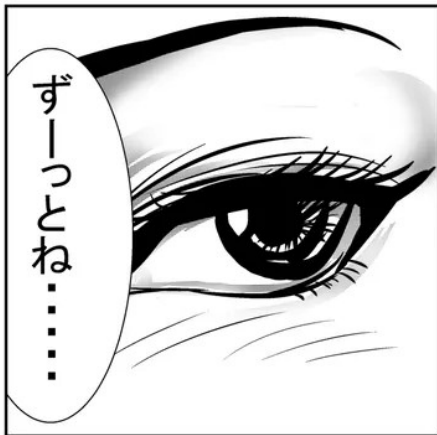


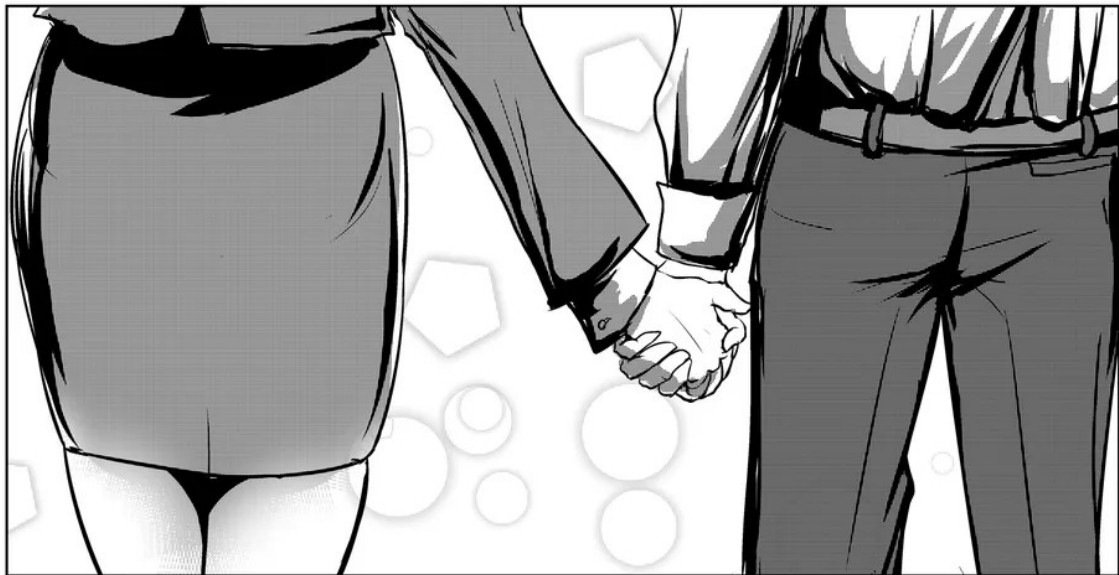
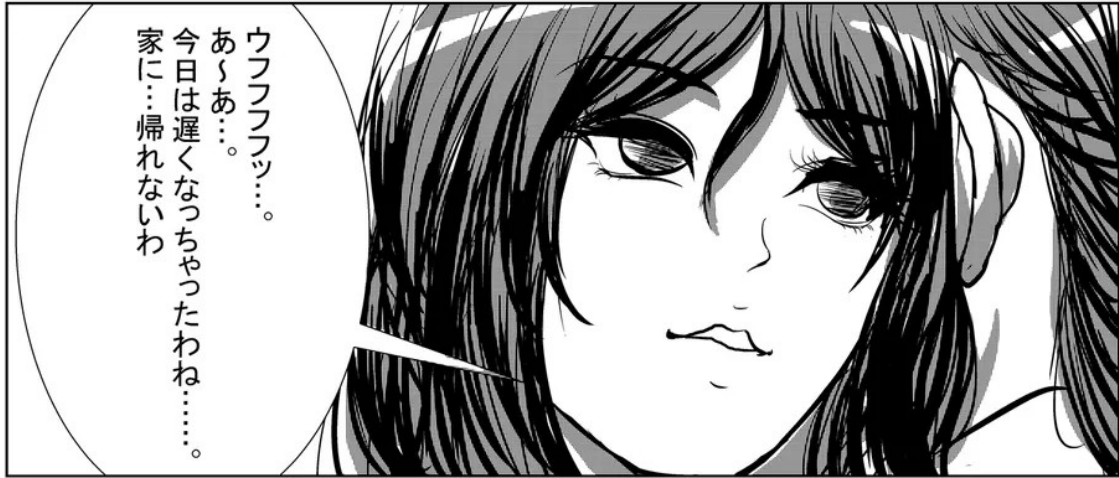
そして……その日の終業時



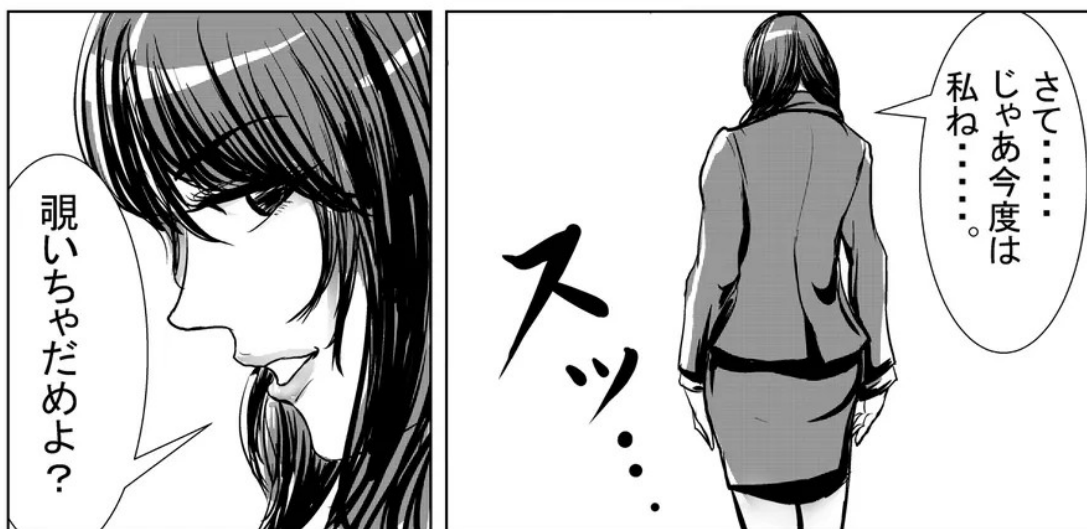


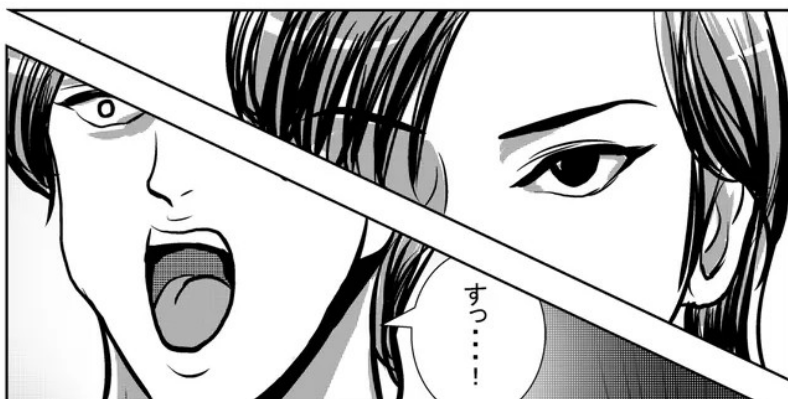






そうして綾の決めたホテルにチェックインした。





お待ちせ





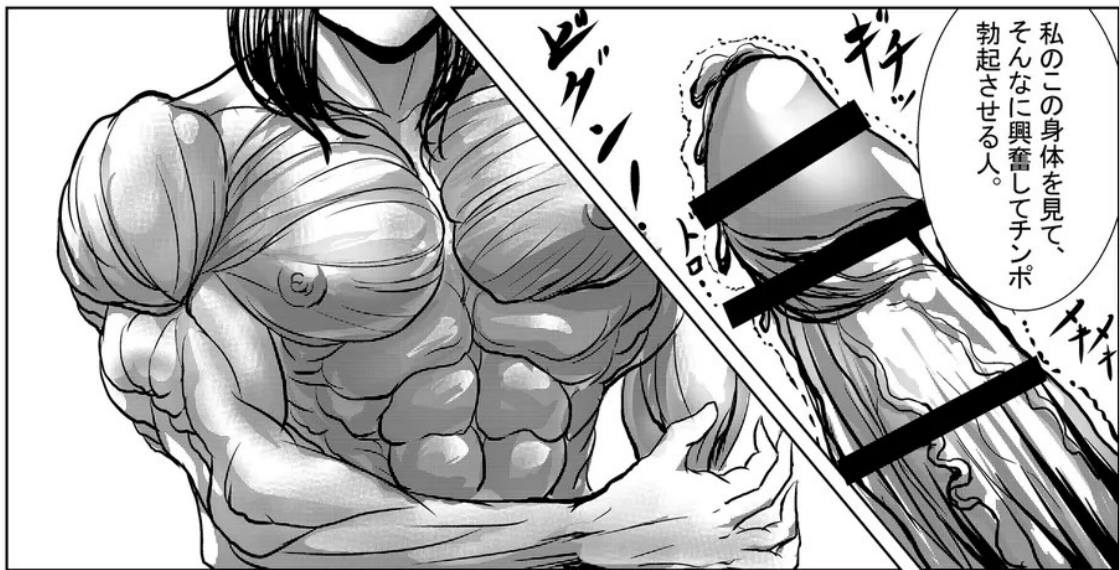
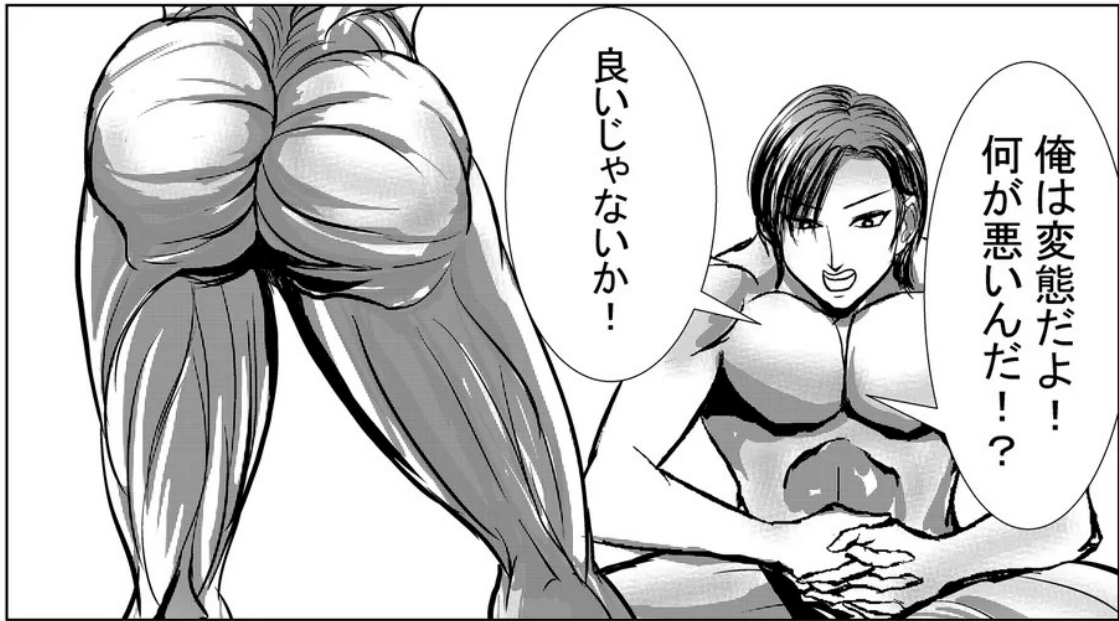
驚いたわ、ムキムキの女性ビルダー
ばっかり。車を持ち上げる可愛い
女の子のイラストとかね。
ハハッ...変態すぎ!

.....そっ...だよ!

ぐっ.....

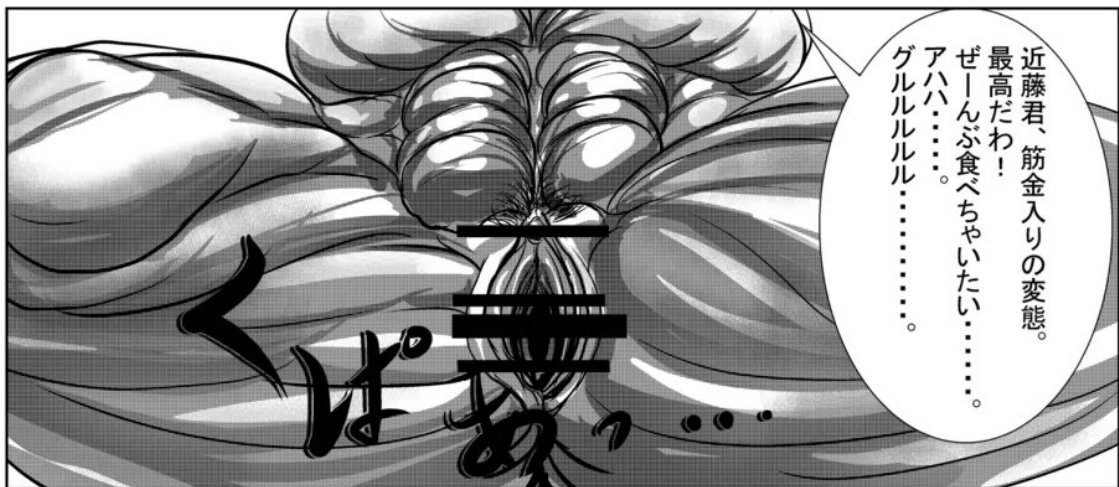
何故知ってるかって?
私見ちゃったの、
ある時デスクに放りっぱなしの
君のスマホ...
ゴメンねわざとじゃないんだ
あの時、君は超バタバタしてた
無防備にも画像フォルダが
表示されたままだったわ。

私、君の事をずっと『観てた』の
さっきそう言ったでしょ?
あなた、筋肉フェチで怪力な女好きの
超変態.....









その日：翌日のチエックアウトまで寝ずにセックスをし、

さらに土曜日と日曜日は、綾の家で過ごしセックスを繰り返した。

さすがの俺も精根尽き果てたが、

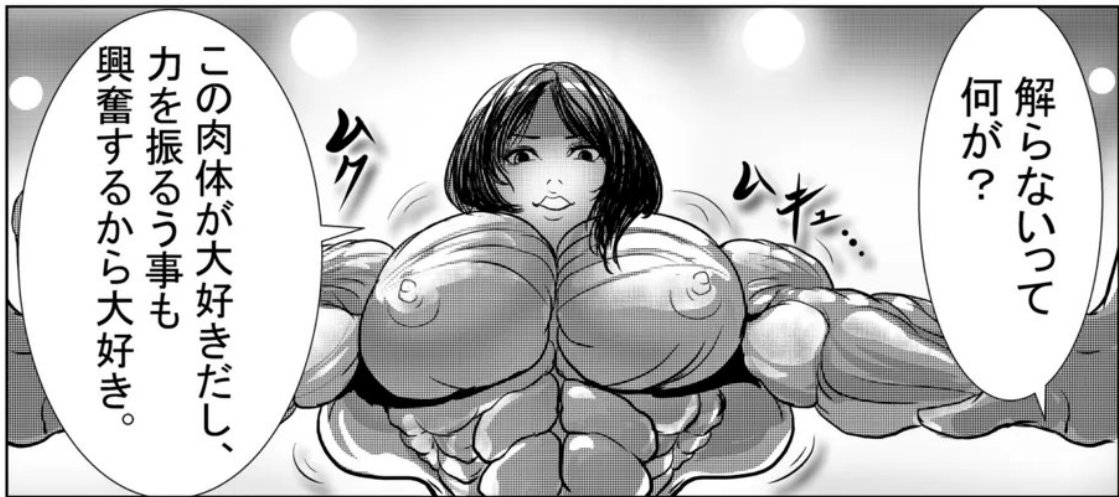
綾は全く性欲が衰えない。

それどころか逆に増大していったのだった。

綾といづ女



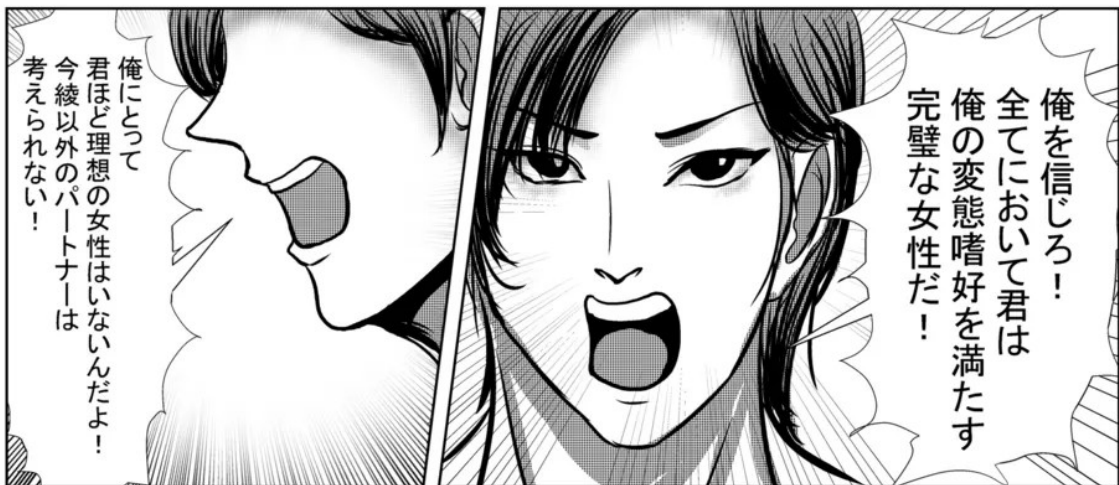
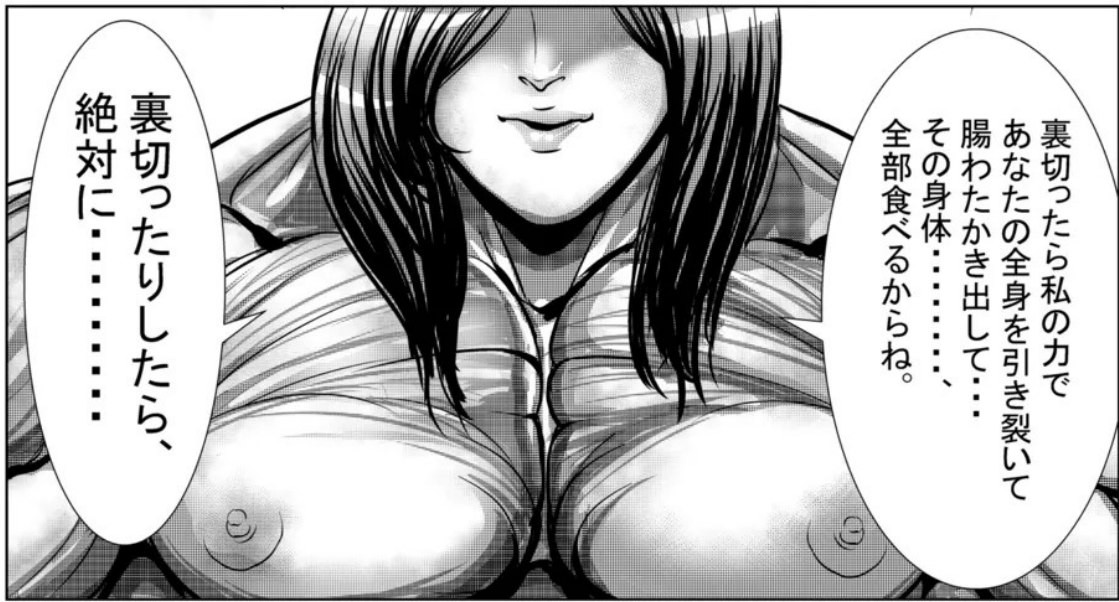
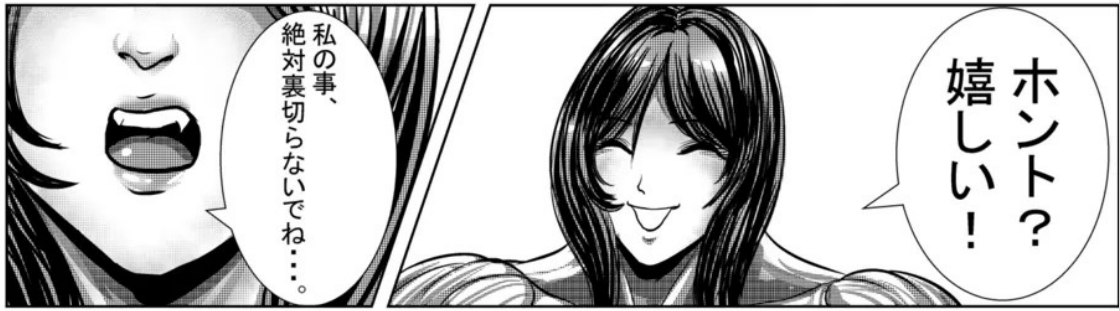


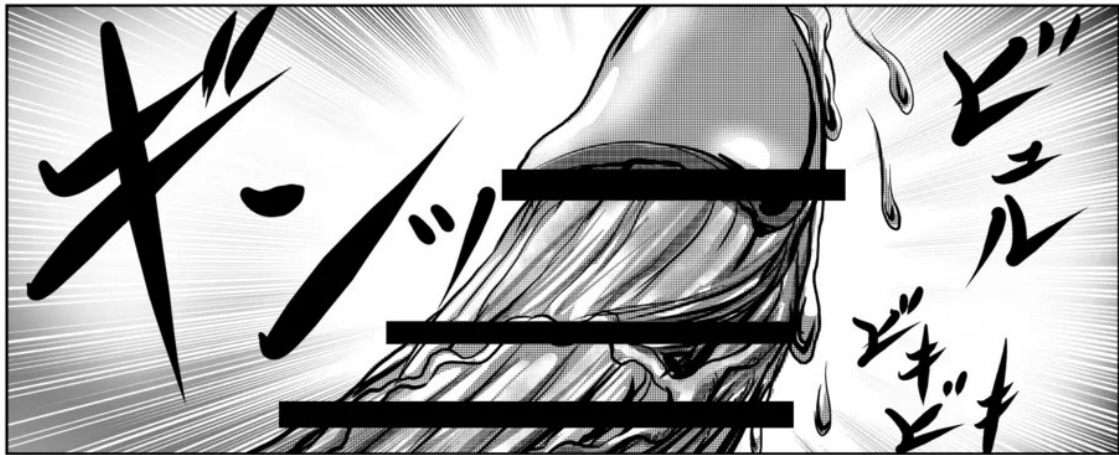
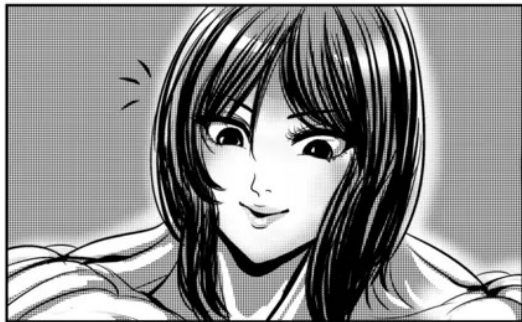


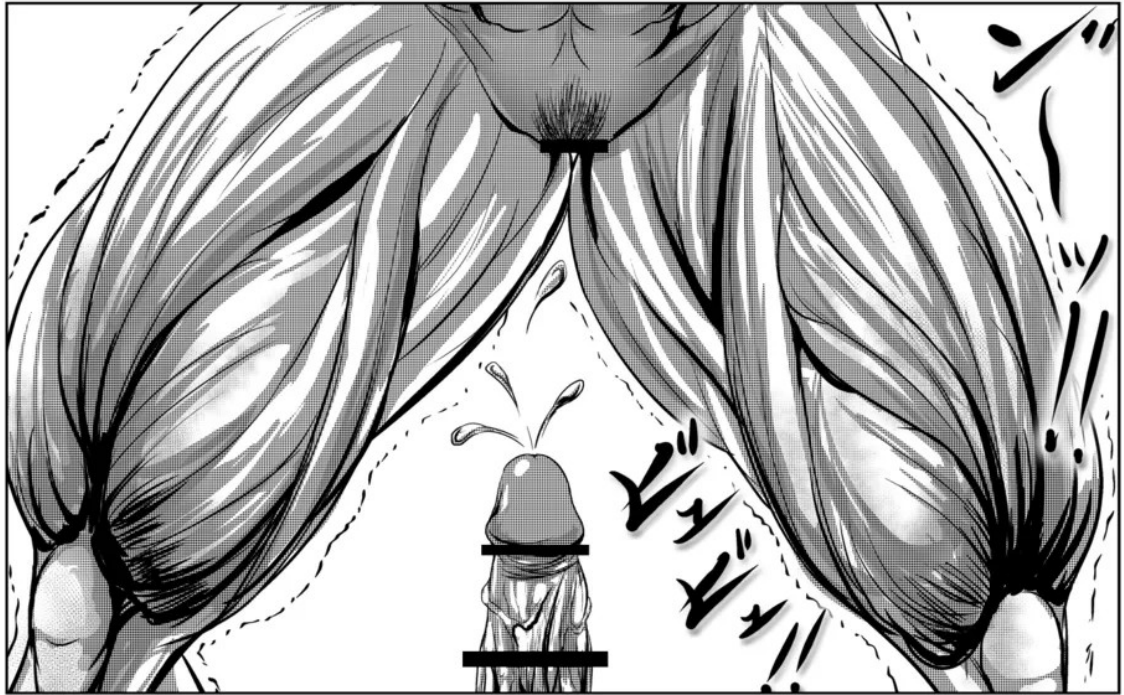












綾は離婚を決意し、
間も無くして俺と結婚する事となった。



会社には俺たちが結婚した事は伏せ、
綾は一身上の都合とし、退職した。

給料は特別高いわけでもなく、
それなりだが俺の収入だけでも
何とか生活出来る。

私、本気でトレーニングして
さらにあなたの理想の女になるわ

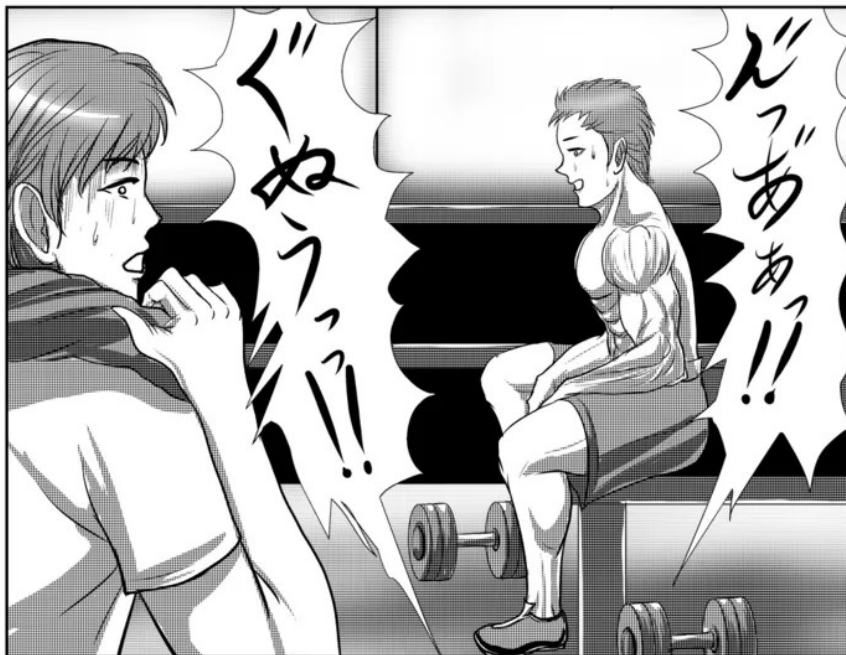
筋肉の化物になっても
私だけを愛してよね



ああ、筋肉の化物なんて
最高の響きだ。

君は最高の女性だよ

綾は程なくしてトレーニングを開始した。
全く鍛えていない状態でも、
凄まじい密度の筋肉を有していた綾。
それが本気で鍛えだした事によって、
その成長速度・バルクアップのスピードは
恐るべきものだった。





綾がトレーニングをして始めて気付いた事だが……

彼女は身体を鍛えれば鍛えるほど全身で絶頂を得られるという



ふっ……
ふっ……



重度の「コアガズム」の持ち主だった



お……オイ……あいつベンチプレス300キロを100回も挙げてたぜ……化物かよ……

あ……ああ数週間前に入会した女性会員だよ

なっ……何っ！あれ……女なのか！？何だあの馬鹿デカイ筋肉……！！



「コアガズム」
それはオナニーやセックス等、
性的な愛撫無しにコアガズムを
感じるというものである。

綾の場合、これも特異体質で
常人よりはるかに感じやすくなっているのだ。

スクッ...



その為、鍛えれば
鍛えるほど

興奮するということだ

ガ
シツ!!



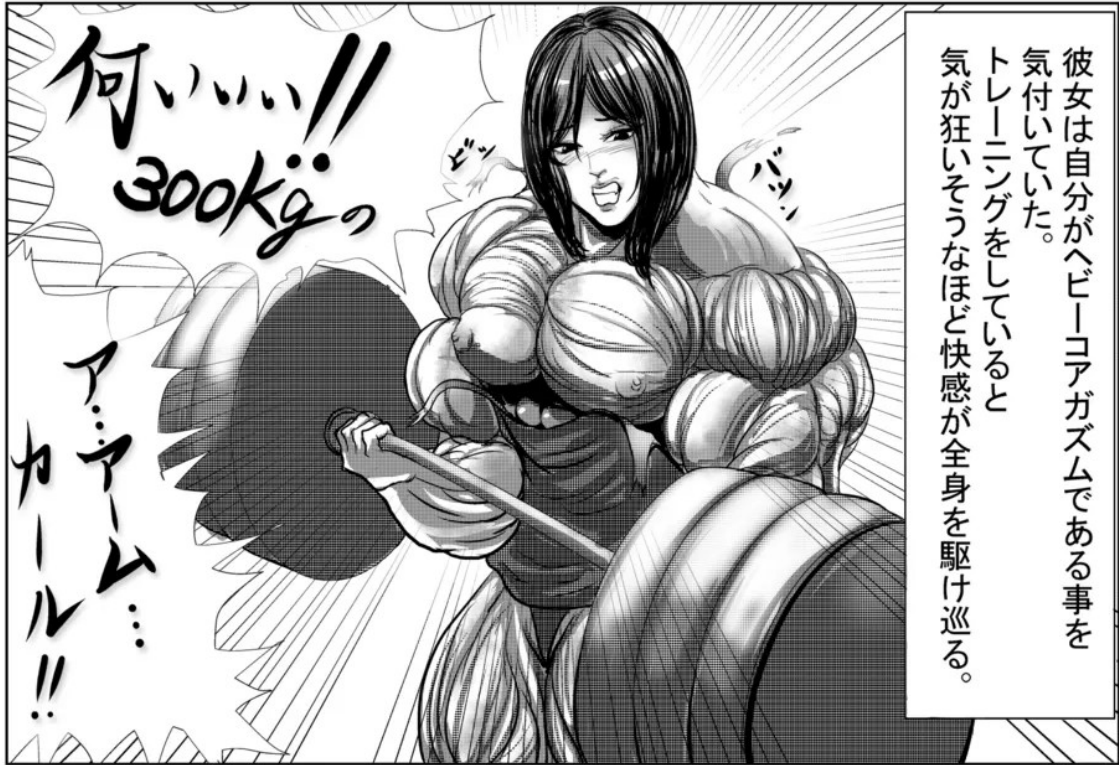
お...
おい...
まさか!

えっ!?!

ギョッ...

グググ...

ザ...

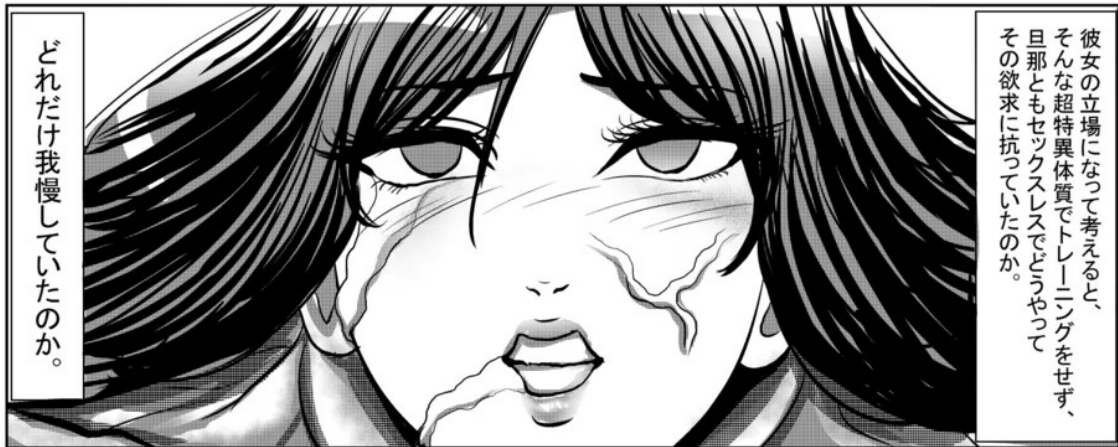


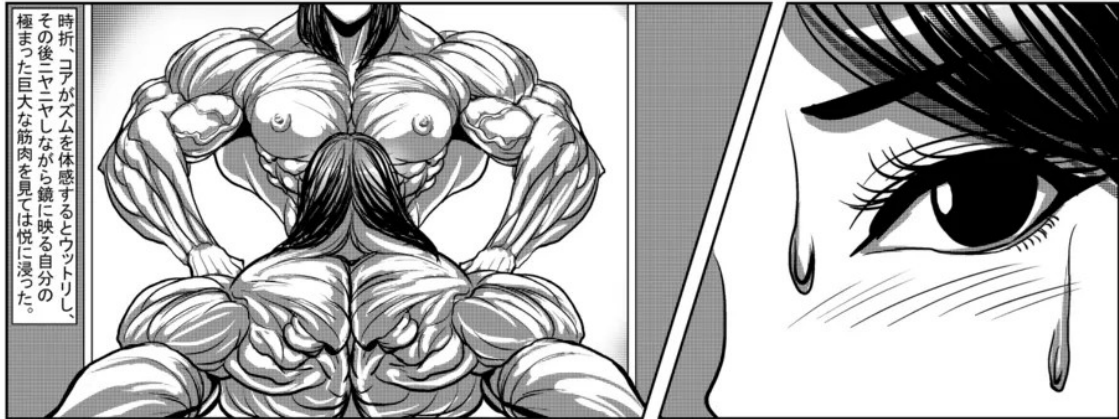
彼女は自分がヘビーコアガズムである事を
気付いていた。
トレーニングをしていると
気が狂いそうなほど快感が全身を駆け巡る。



公の場で発狂して我を忘れることは憚られるので
綾は一切トレーニングはしなかった。
そう、その事を理解してくれる人間も傍にいなかった。

家族すらも
彼女から距離を置いていたのだ。





時折、コアガズムを体感するとウットリし、その後ニヤニヤしながら鏡に映る自分の極まった巨大な筋肉を見ては悦びに浸った。



異常性欲＋トレーニングコアガズム
トレーニングを続けると綾はこの永遠ループにはまり、
好循環でどんどん筋肉の発達が促進される。

そうなるともう何時間でも
トレーニングを続け終わろうとしなかった。
凄まじい快感が全身を包み：筋肉が激しく蠕動し、
全身に浮き出た網目のような血管がドクドクと脈打つ。



ばっ……
化物……!!
筋肉の化物……
オエッ……!!

うっ……
うぶっ……!!
なんなのあの身体……!!



綾の秘部からは大量のラブジュースが溢れ
ジムの地面は水浸しになっていた。
人の少ない時間にトレーニングしているものの、
周りの一般トレーニー達はガタガタと
震えながら綾を見ていた。



無理もない、同じ人間とは思えない程の
筋肉を盛り上げた女が、気が狂ったように
途轍もない重量でトレーニングを続けている。
あまりの迫力に吐いてしまうもの、
驚愕して倒れるものもいた。



綾はトレーニングに集中して、
気にも留めていなかった。
俺も綾をずっと見つめていて、
周りの事など、どうでも良かった。

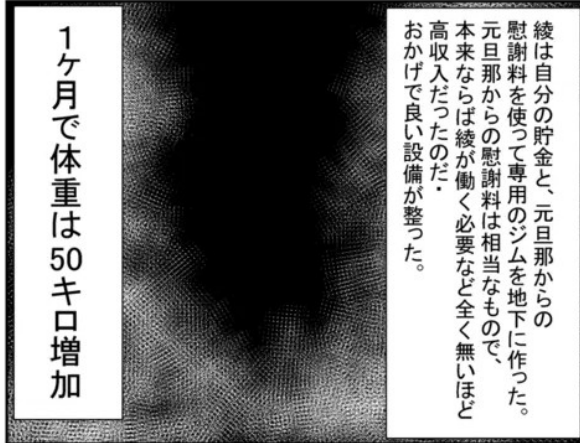
しかし、周りに誰もいない
俺たちだけの時間をもっと作りたかった。
綾にも、もっともっと
トレーニングに集中して欲しい。

俺はちよつと無理をして
都外に移り住み、一軒家を購入した。



綾は自分の貯金と、元旦那からの
慰謝料を使って専用のジムを地下に作った。
元旦那からの慰謝料は相当なもので、
本来ならば綾が働く必要など全く無いほど
高収入だったのだ。
おかげで良い設備が整った。

1ヶ月で体重は50キロ増加



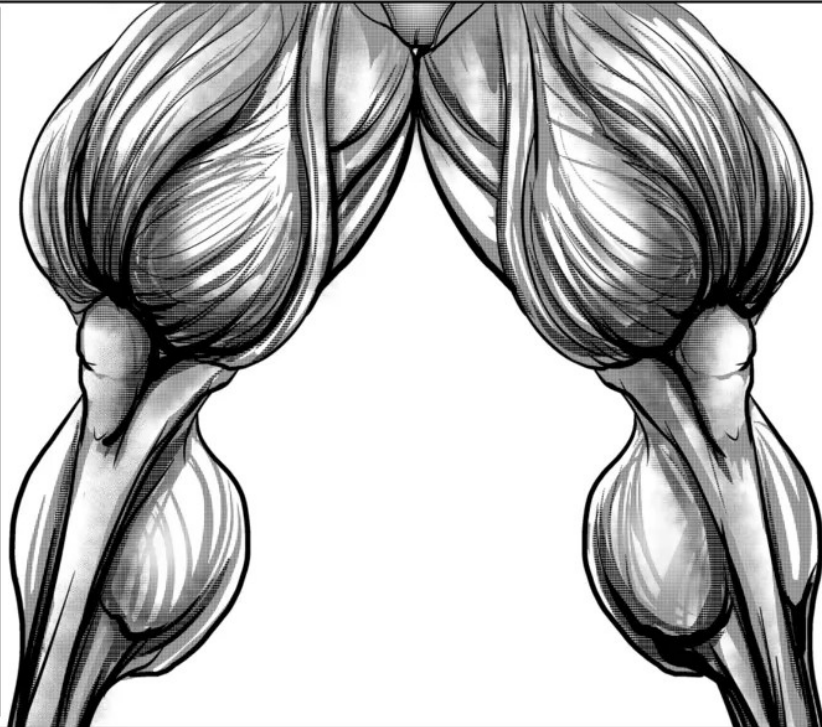
2ヶ月で70キロ



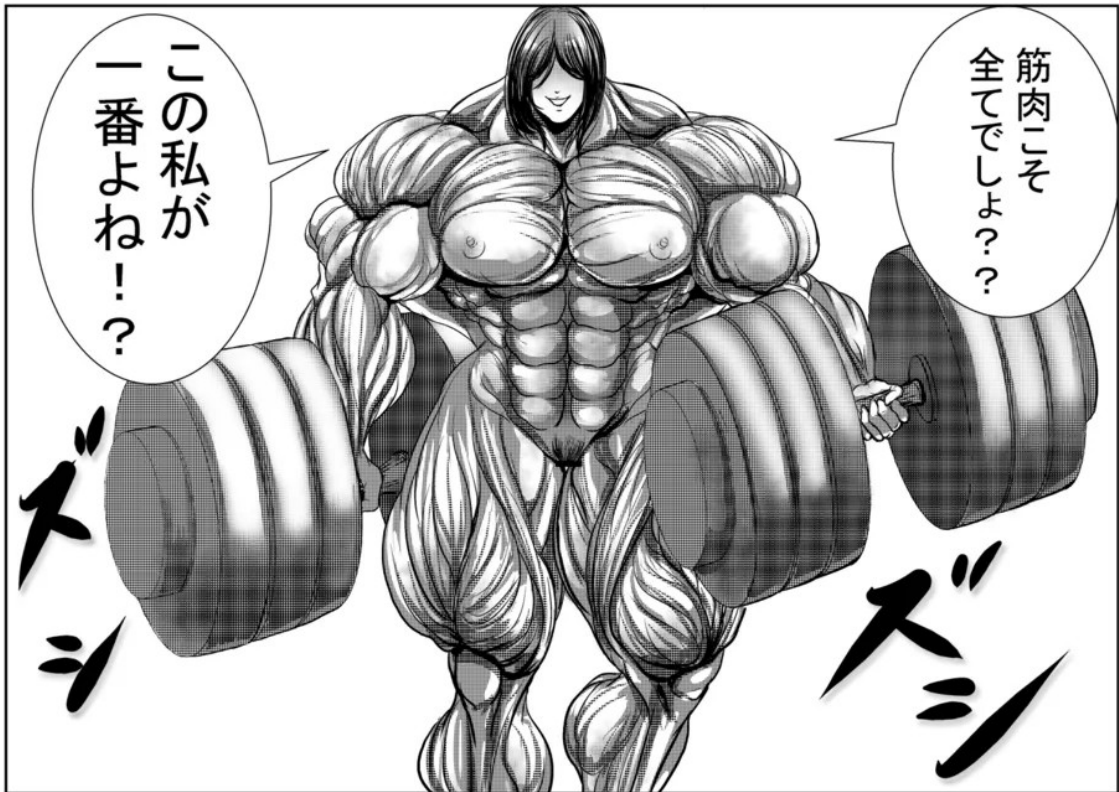
3ヶ月で90キロ



純粋な筋肉がどんどん増えていく！



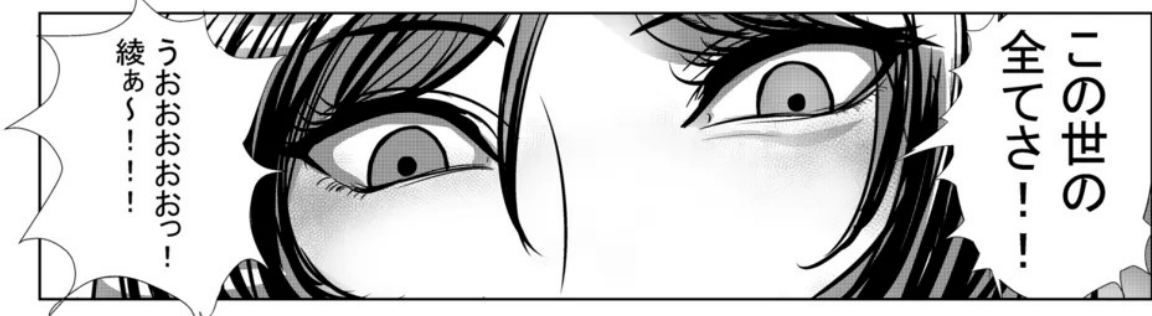
たった半年で
その体重は500キロを超えていた……。





君がナンバーワンだ！
筋肉美女こそが……

ああ！
綾、お前は最高だ！
この世の誰よりも美しい
愛おしいよ！



うおおおおおっ！
綾あゝ……！！

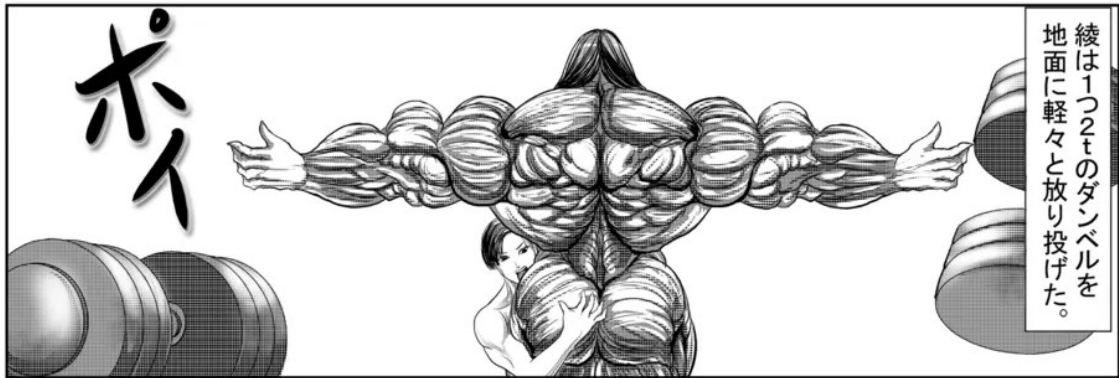
この世の
全てさ……！！



グルルルルルツ……！！



ソフフフ……
陽介えええ



綾といづ女



日に日に増大していく筋肉量と恐ろしいまでの性欲。

筋量が増大すると共に、

力も比例して飛躍的にパワーアップしていく。

もともとトレーニングをせずとも……

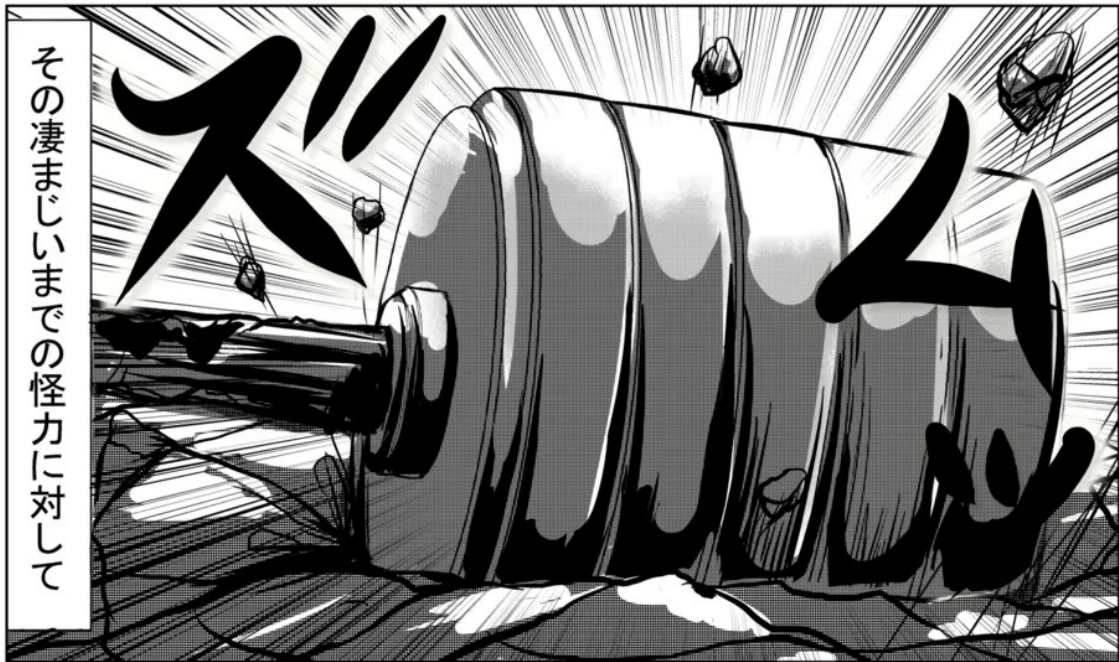
細身の体型にも関わらず、

男性トップビルダー並みの怪力を有していた。

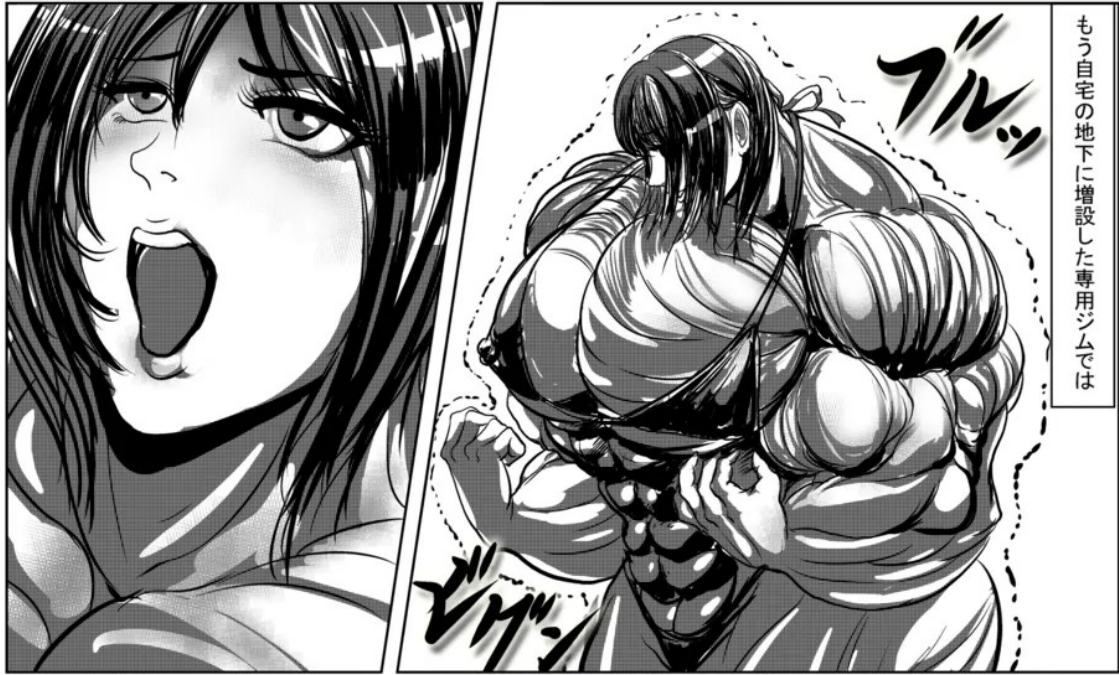




そんな彼女が本格的に身体を鍛え出し



その凄まじいまでの怪力に対して





専用ジムの設備では
お遊び的に
身体を鍛え…

パンプアップした
肉体で
俺とのセックスを
楽しむ場となっていた。



綾がボディビル用の
ポージングスーツを
着用し
トレーニングをする



パンプアップした肉体を
これでもかと
見せ付ける

ボディビル
ポージングショーを
行い……
鑑賞者は俺一人だ





綾は自分の筋肉美を見て
興奮してもらおう事の喜びを
感じながら

汗だくになり渾身の力で
ポージングをする





そのボーリング中の綾の筋肉に向かって



思い切り射精すると



綾は幸せそうな笑みを浮かべ、俺の精子を貪り尽くす



俺は最高に興奮して、綾の後ろに回りこむと

筋肉がギチギチに詰まって盛り上がる筋肉だらけで
血管が浮かび上がった綾の巨尻にしがみつき



ポージングスーツをずらし



綾の筋肉マンコに

思い切りペニスを
ねじ込んだ!





綾は俺を抱きかかえ、
筋肉をさらに盛り上げる

綾は風船のように膨らみ
膨張した大胸筋で
風が起こる程の胸。ピクを
俺に見せつけ押し付けてくる。



筋繊維が一面にビッシリ浮き上がり
とんでもない状態になっていた。

500キロを軽く超える
超筋肉…。
興奮しないはずがない！



綾は家に居るとき、一通りの家事を済ませたら地下のトレーニングジムでひたすらトレーニングを繰り返す。最高重量で7tという綾にとっては重量不足な分、1セット毎のトレーニングは超ハイレップで行う事になっている。

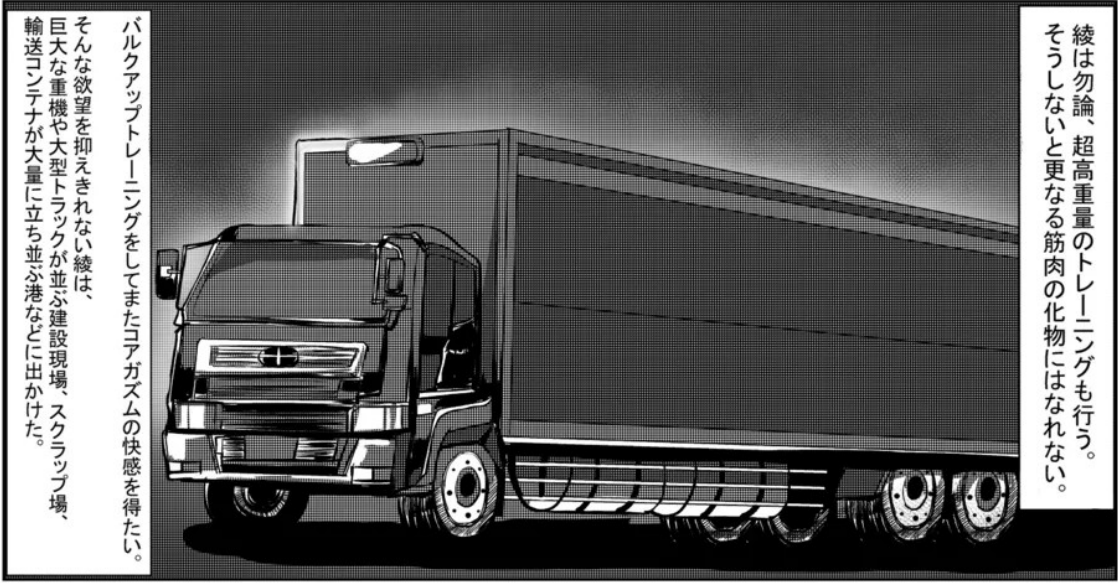


1000回以上続けることもある。これは綾がヘビーコアガズムである事も一つの要因だ。もう一つはバルクアップ…。筋肥大するにはヘビーウェイトでのトレーニングが効果的だが、ハイレップでのトレーニングでは筋肥大より筋肉のスタミナが高まり、そして筋密度を高められる傾向にある。綾の場合、それが特にはつきりしていてその効果も如実に出ていた。



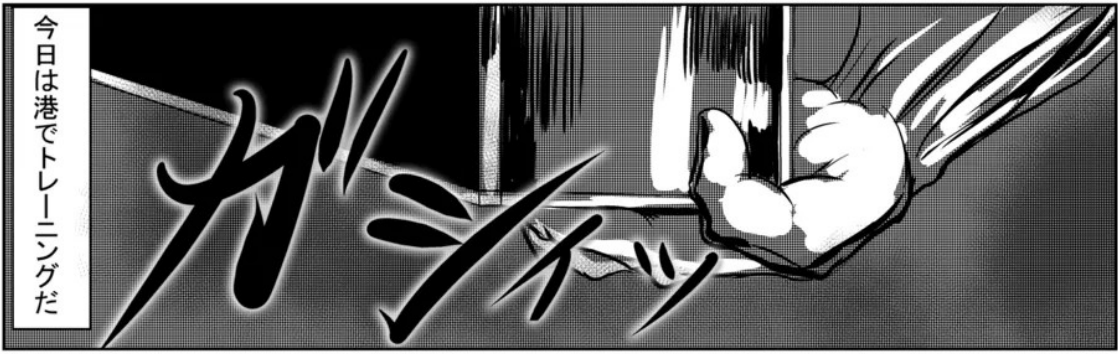
力が溢れるう……!!
んふうん……

綾はバルクモンスターになるだけでなく、その筋密度においても高みを目指し、完璧で究極の筋肉の化物になろうとしているのだ。

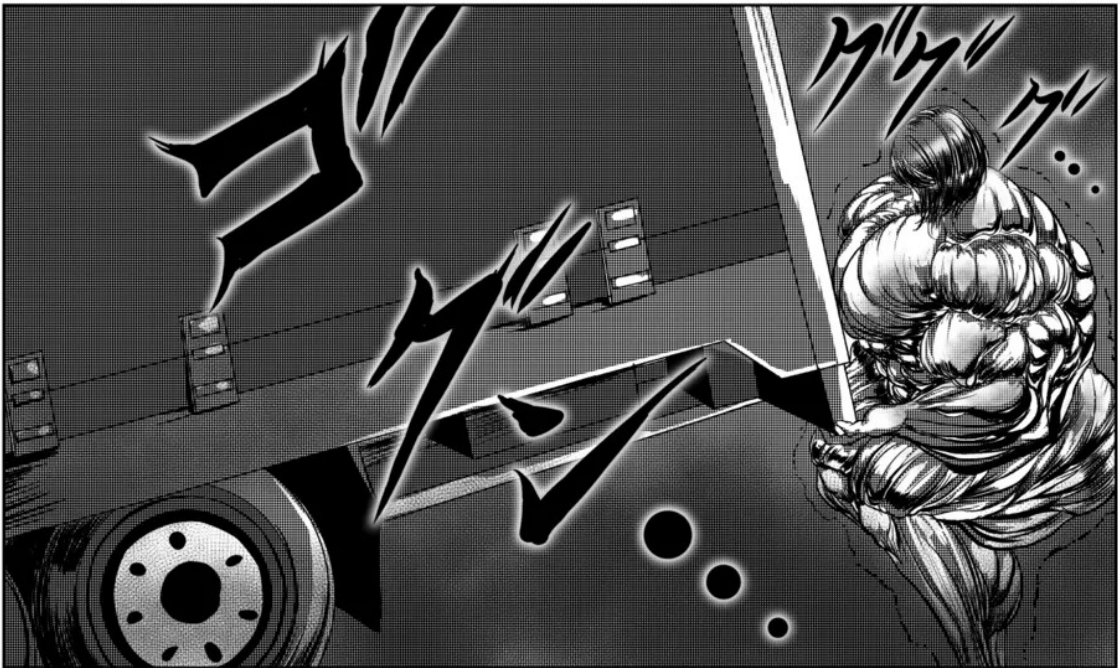


綾は勿論、超高重量のトレーリングも行う。
そうしないと更なる筋肉の化物にはなれない。

バルクアップトレーリングをしてまたコアガズムの快感を得たい。
そんな欲望を抑えきれない綾は、
巨大な重機や大型トラックが並ぶ建設現場、スクラップ場、
輸送コンテナが大量に立ち並ぶ港などに出かけた。



今日は港でトレーリングだ







10トントラックが綾の頭上で上下している。



コアガズムの快感と
トレーニングの苦痛が少し入り混じった
複雑や表情ながらも

綾はニヤニヤと笑っていた。
性欲を解消すると同時に
100%の力を使い続ける事で
綾の心と筋肉は解放されていく。



負荷がかかる度にポコポコと音を立てて膨張する！

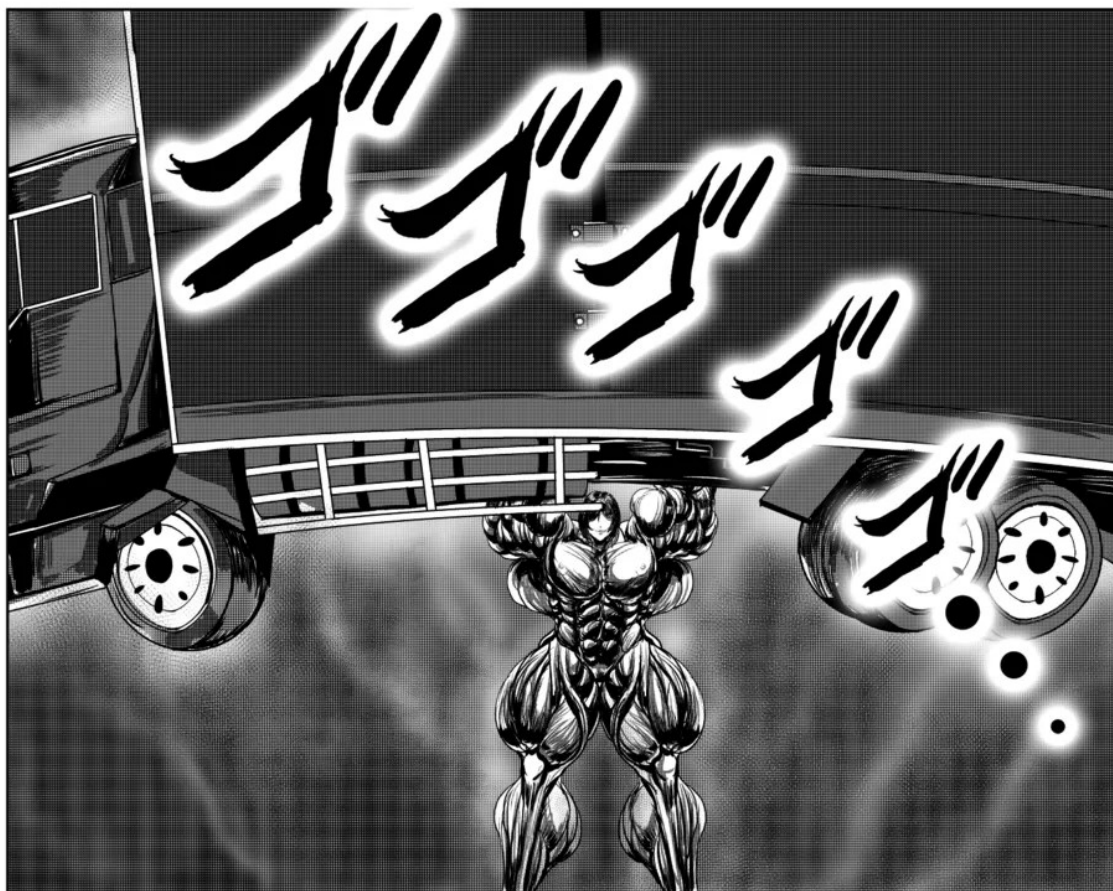


それ自体がまるで別の生き物のようにゴロゴロと巨大筋肉！



恐ろしい光景だ、一般人からすれば…。





10トントラックを軽々と持ち上げ、24トンのコンテナを担ぎ、
狂氣的なトレーニングで鍛え、筋肉を風船のように盛り上げていく綾。
突き抜けるコアガズムの超快感、自由意思によるオーガズム
俺との激しいセックスで完全に発狂した綾の狂喜は、
朝になるまで落ち着くことは無かった。

本当に………

なんて危険で最高な女なんだ。